

コロナ相場の勝者と敗者

その違いが分からなければ、いずれ大損します。

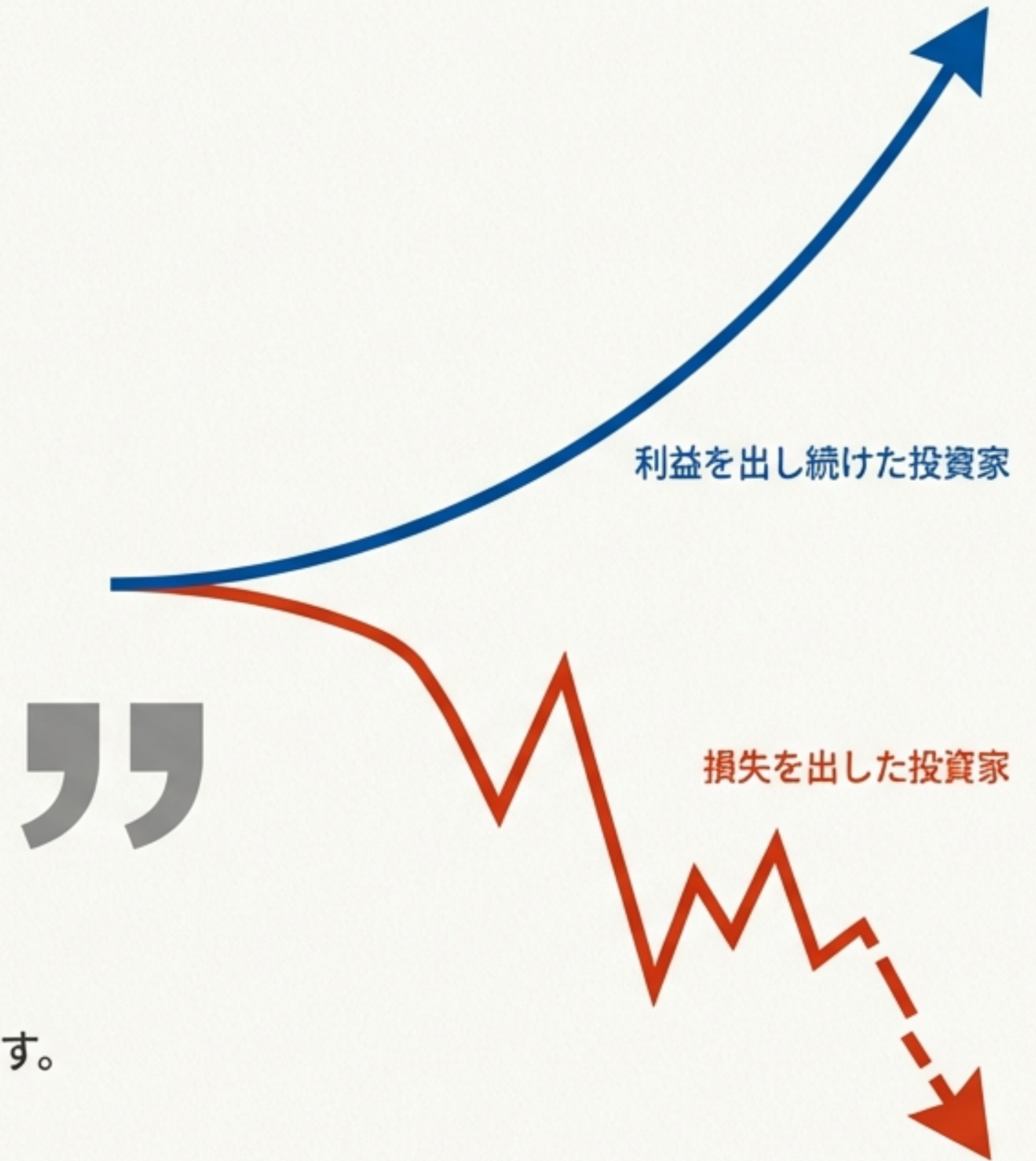


仕手株.コム

結論から始めます。

“「投資に対して
冷静さと自信が
あるかないか」

これが、コロナ相場で利益を出し続けた投資家と、
最終的に損失を出した投資家の唯一にして最大の違いです。



前代未聞の舞台：コロナ相場

世界中がパニックに陥り、特定のテーマ（コロナ関連銘柄）に爆発的な注目が集中した、歴史上でも稀な相場。

「コロナウイルスに効く薬の開発」といった期待感が、株価を通常では考えられない水準まで押し上げました。

代表銘柄の「あり得ない上昇」



4563 アンジェス（コロナ相場のきっかけを作った銘柄として強調）

2191 テラ

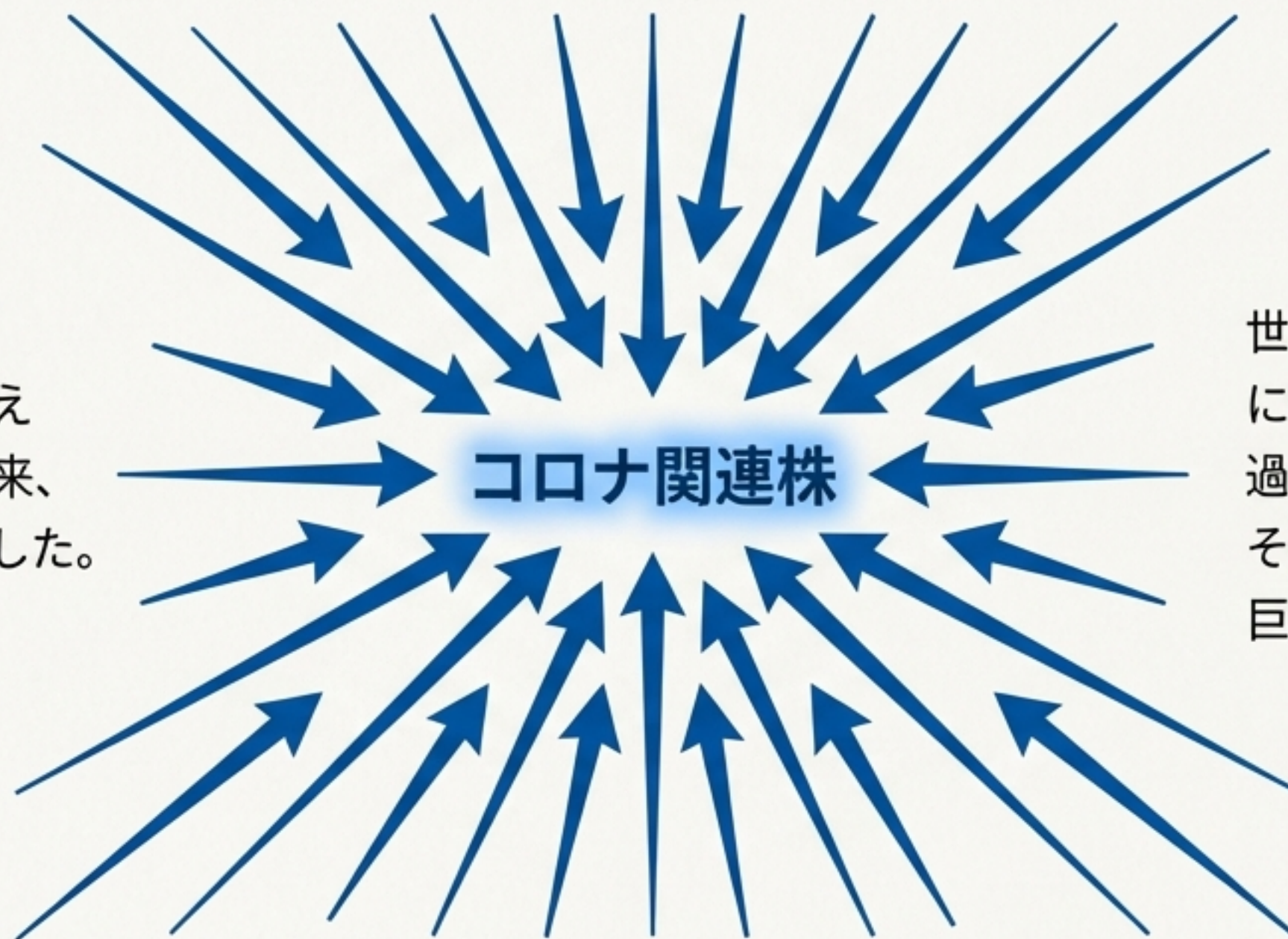
4586 メドレックス

2370 メディネット

4564 オンコセラピー

かつてないほど「分かりやすい」相場だった

コロナ関連銘柄を取引してさえ
いれば、利益を出すことは本来、
それほど難しくありませんでした。



世界中の投資家が、これほどまで
に一つのテーマに注目したのは
過去になかったかもしれません。
その結果、莫大な資金が流入し、
巨大な相場が形成されました。

ではなぜ、この状況でも損失を出す投資家が存在したのでしょうか？

敗者の道なり

どんな相場でも、見事に損失を出す投資家の行動パターン



敗者の根本原因

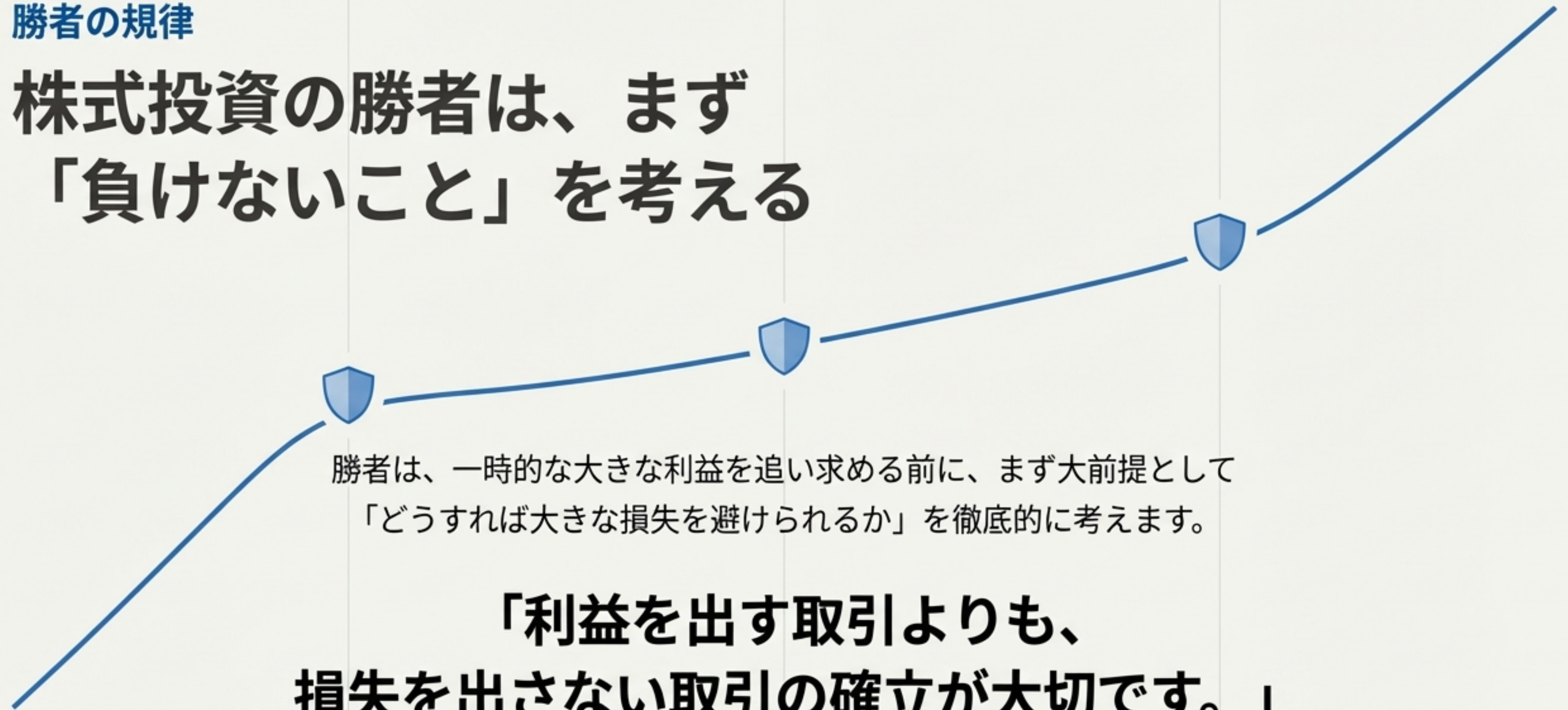
経験も知識もあるはずの投資家が、なぜ損失を繰り返すのか？
個々の投資レベル以前に、問題は「取引の仕方」にあります。

「感情で取引している」

感情が判断を曇らせ、本来であれば避けるべき取引へと駆り立てる。
これが大きな損失へ直結する唯一の道です。

勝者の規律

株式投資の勝者は、まず 「負けないこと」を考える



勝者は、一時的な大きな利益を追い求める前に、まず大前提として
「どうすれば大きな損失を避けられるか」を徹底的に考えます。

**「利益を出す取引よりも、
損失を出さない取引の確立が大切です。」**

勝者の心理状態

投資の世界は、利益の奪い合いです。その中で常に勝ち続ける者は、確立された取引手法だけでなく、それを支える強固なメンタルを持っています。



冷静な思考 (Calm Thinking)

市場のノイズに惑わされず、客観的な事実に基づいて判断する。



自信に満ちた実行 (Confident Execution)

自分のルールに絶対的な自信を持ち、迷いなく取引を実行する。



負の感情の制御 (Control of Negative Emotions)

恐怖や欲望といった感情をコントロールし、機械的な取引を可能にする。

勝者と敗者を分けるもの

敗者

思考：感情的

行動：利益を追い、軸がブレる

状態：過信と恐怖の繰り返し

結果：利益を吹き飛ばす大損

勝者

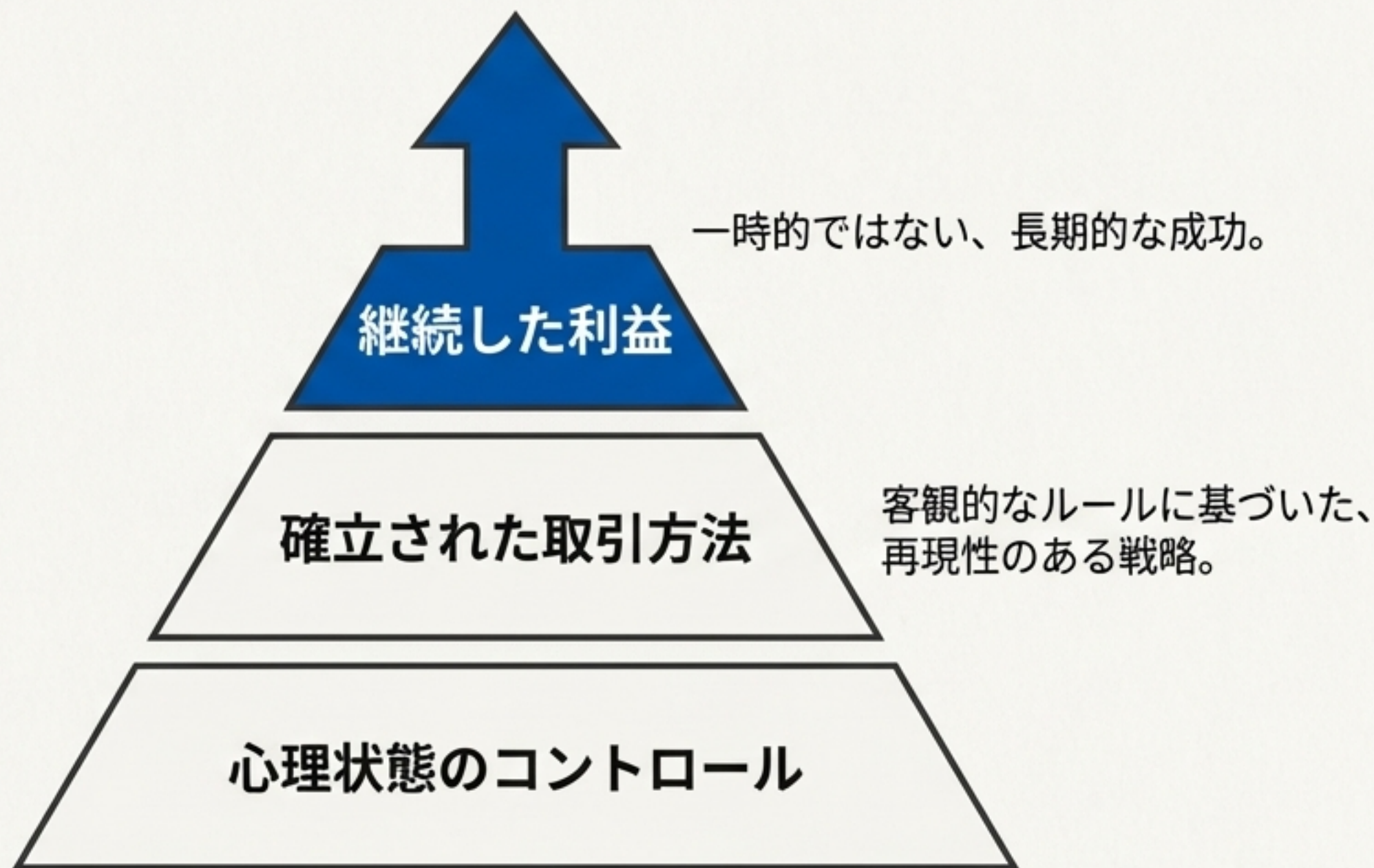
思考：常に冷静

行動：損失を避けるルールを徹底

状態：自信に満ち溢れている

結果：継続した利益

継続的な利益への道筋



全てはここから始まる。負の感情を制御できなければ、どんな優れた手法も機能しない。

この学びを、次への一步に

仕手株投資で確実に利益を出し続けるためには、知るべきことがまだ多くあります。

この瞬間の巡り合わせを一つの「きっかけ」と捉え、あなたの投資家としてのスキルアップに突き進んでください。

仕手株銘柄の株価動向や、より深い分析はサイトで公開しています。

[\[仕手株.コムでさらに学ぶ \]](#)

仕手株.コム